

 こうか

city
assembly
report

Vol. 37

市議会 だより

おもな内容

- 特集／私のおもい ————— 2～3
- 議会審議 ————— 4～5
- 常任委員会報告 ————— 6～7
- 一般質問(25名が問う) ————— 8～22
- 特別委員会の動き ————— 22
- 組合議会の動き ————— 23
- こうか再発見 Vol.9 ————— 24



水口神社での初詣。「笑門来福」を願って笑顔も満開。

甲賀市議会

私のおもい

平成25年10月20日の改選により、選出された27名の第4期甲賀市議会議員に甲賀市政に対するおもい、抱負を語っていただきました。



市長 中嶋 武嗣

市民皆さんが普通の生活の中から「生まれてよし」「生きてよし」「住んでよし」の市民幸福度を実感できる「生活感幸」のまちとして、人々の憧れを集める格調と品格を兼ね備えた理想のまちづくりを議会とともに目指してまいります。



議長 鵜飼 勲

甲賀市も、誕生から10年目を迎え、いよいよ成熟期に移る時期です。市民の負託に応え、市民に信頼され気概のある議会を構築するとともに、市民視点での分かりやすい議会運営と議会機能強化を図る取り組みを進めます。

 中西 弥兵衛 清風クラブ 甲賀の「ブランド力」を高め、不況に打ち勝つ「地域力」の創造を市民と共に。	 橋本 律子 清風クラブ 女性の声を大切に、若人に希望のまちづくりを努めます。確かな絆で！	 服部 治男 清風クラブ 合併して10年目、甲賀市が新名神の利便性を活用し、更なる発展を目指します。
--	---	--

 辻 重治 清風クラブ 皆様の声を届け、まち・ひとが輝く甲賀市へ、精いっぱい頑張ります。	 土山 定信 市民クラブ 皆さんが納得していただけ立場を買き、身近な議会になるよう努力します。	 白坂 萬里子 公明党甲賀市議団 働くお母さんの強い味方として、生活者の生の声を議会に反映してまいります。
--	---	---

 加藤 和孝 公明党甲賀市議団 どこまでもひとりの人を大切に、人の心輝く街づくりに取り組めます。	 安井 直明 日本共産党甲賀市議員 暮らしは大変。経験生かし市民の願い実現。行政監視、議員役割果たします。	 山岡 光広 日本共産党甲賀市議員 新聞記者の経験を生かし、いつも市民の目線で。要求実現へ粘り強く。	 的場 計利 清風クラブ 『誇れる郷市』を、次代を託す若人にバトンリレーできるよう頑張ります。	 橋本 恒典 清風クラブ 歴史と自然に恵まれ、多くの可能性を持つ甲賀市の未来に向けて頑張ります。
--	---	--	---	--

 田中 実 清風クラブ 市民の皆様とともに、安全安心な心がかような活力あるまちづくりを努めます。	 宍戸 俊夫 清風クラブ 住み良いまち・住み続けたいまち・住んでみたいまち甲賀市を目指し頑張ります。	 森田 久生 清風クラブ 安心安全、快適元氣な街創りを目指し、皆さんの声をしっかりと市政に反映します。	 田中 新人 市民クラブ だけれども住みたくなるまちづくり、甲賀市政の実現に是非々々で頑張ります。	 森嶋 克巳 市民クラブ 市民の皆様の声を市政に反映できるよう、是非々々の姿勢で議会に臨みます。
--	--	---	---	--

 田中 将之 公明党甲賀市議団 小さな声を大切に。あなたの視線でまちづくりをモットーに頑張っていきます。	 小西 喜代次 日本共産党甲賀市議員 みなさんの願い実現のため力をあわせ、くらしと福祉のまちづくりをめざします。	 山中 善治 清風クラブ 誇りを持って住んでいただける甲賀市を目指し、一歩一歩頑張ります。	 林田 久充 清風クラブ 多くの方々と甲賀を語り、想いを形にします。市の説明責任に努力します。	 小河 文人 清風クラブ 美しいまち、ひと、こころを大切に、正しい事をまっすぐに美しい甲賀を目指します。
--	--	---	---	--

 戎脇 浩 清風クラブ 皆様が「もっともっと好きな街」になるよう、精力的かつ誠実に活動します。	 片山 修 市民クラブ 皆様の声を大切にして安全で安心して暮らせる「住み良いまち」を目指します。	 竹若 茂國 市民クラブ 市民の思いが市政に反映できるよう「やる気・元氣・本気」で取り組みます。	 谷永 兼一 無所属 二期目の責任、甲賀市未来への責任を重く受け「地域の夢と元氣を応援します」	 竹村 貞男 無所属 「情熱・決断・実行」をモットーに誰もが住みよい甲賀市づくりに頑張ります。
---	--	--	---	---

議会で審議したもの

人事・条例・補正予算・財産の取扱の変更 ほか

条例、補正予算など46議案を審議

12月定例会は、12月3日から12月20日までの18日間にわたり開催され人事1件、条例16件、補正予算10件、意見書7件、請願1件、その他11件について審議しました。
各議案に対する議決結果は次のとおりです。

人事

◆教育委員会委員の任命
山田喜一朗氏
(水口町)
(全員賛成で同意)

条例の一部改正

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
(賛成多数で可決)

◆病院事業設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
(賛成多数で可決)

◆介護保険特別会計補正予算(第2号)
(全員賛成で可決)

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
(全員賛成で可決)

◆鳥獣侵入防止柵資材購入契約変更2件
(全員賛成で可決)

財産の取得の変更

◆鳥獣侵入防止柵資材購入契約変更2件
(全員賛成で可決)

条例制定

◆附属機関設置条例の制定
(全員賛成で可決)

◆固定資産税特別措置条例の制定
(賛成多数で可決)

◆附属機関の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆税条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆小集落改良住宅条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆地域総合センター条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定
(全員賛成で可決)

◆社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
(賛成多数で可決)

◆市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定(議員提案)
(全員賛成で可決)

◆排水処理施設条例を廃止する条例の制定
(賛成多数で可決)

◆浄化槽管理事業特別会計補正予算(第2号)
(全員賛成で可決)

◆病院事業会計補正予算(第1号)
(全員賛成で可決)

◆水道事業会計補正予算(第3号)
(全員賛成で可決)

補正予算

◆一般会計補正予算(第5号)
(全員賛成で可決)

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
(全員賛成で可決)

◆診療所事業会計補正予算(第1号)
(全員賛成で可決)

◆介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)
(全員賛成で可決)

議決

◆指定管理者の指定7件全てこれまでの指定が継続されます
(全員賛成で認定)

◆滋賀県自治会館管理組合一般会計歳入歳出決算の認定
(全員賛成で認定)

◆市町土地開発公社の解散につき議会の議決
(全員賛成で可決)

○：賛成 ●：反対

各会派・無所属 議案名	採択 不採択	討論						賛成	反対
		清風クラブ	市民クラブ	公明党	日本共産党	無(竹村)	無(谷永)		
特定秘密保護法の制定に反対する意見書	不採択	●	○	●	○	○	●	山岡、土山、小西	服部、加藤
消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書	採択	○	○	○	●	○	○	竹村、加藤	小西、山岡
企業減税から確実な賃金上げを求める意見書	採択	○	○	○	●	○	○	森田	安井
軽自動車税の課税強化に反対し現行税率の維持を求める意見書	不採択	●	○	●	○	○	○	安井	辻
高校授業料無償化の継続を求める意見書	不採択	●	●	●	○	●	●	小西、安井	竹村、的場
消費税増税の実施中止を求める意見書	不採択	●	●	●	○	●	●	安井	田中將
社会保障の再生・拡充への転換を求める意見書	不採択	●	●	●	○	●	●	山岡、安井	中西、片山
TPP交渉からの撤退を求める請願	不採択	●	●	●	○	●	●	安井	小河

臨時会 11月6日

平成25年第5回臨時会は1日間の会期で専決報告2件、議案5件、意見書1件の審議と議会人事の改選を行いました。

■予算の専決

- 一般会計補正予算(第4号)
 - 公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
 - 農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
 - 水道事業会計補正予算(第2号)
- また正副議長のほか、各委員会構成も決まりました。

■人事

甲賀市監査委員の選任
的場 計利
(賛成多数にて同意)

■議会人事

正副議長
議長 鶴飼 勲
副議長 中西 弥兵衛

■常任委員会

総務常任委員会
橋本 律子 ○白坂 萬里子
谷永 兼二 竹若 茂國
林田 久充 小西 喜代次
服部 治男

■民生常任委員会

○土山 定信 ○加藤 和孝
戎脇 浩 宍戸 俊夫
山岡 光広 中西 弥兵衛

■文教常任委員会

○辻 重治 ○田中 実
竹村 貞男 片山 修
山中 善治 田中 新人
森田 久生

■産業建設常任委員会

○橋本 恒典 ○森嶋 克己
小河 文人 田中 將之
的場 計利 安井 直明

■議会運営委員会

○服部 治男 ○安井 直明
橋本 恒典 白坂 萬里子
土山 定信 辻 重治
橋本 律子

■特別委員会

広報特別委員会
○小西 喜代次 ○林田 久充
片山 修 戎脇 浩
小河 文人 田中 將之
森田 久生 宍戸 俊夫

■組合議会委員

甲賀広域行政組合議会
議員
竹若 茂國 橋本 恒典
白坂 萬里子 辻 重治
橋本 律子

■公立甲賀病院組合議会

議員
田中 新人 的場 計利
鶴飼 勲 中西 弥兵衛
服部 治男

○委員長 ○副委員長

■意見書

信楽高原鉄道信楽線の災害復旧対策を求める意見書
(全員賛成で可決)



総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です。

台風18号の被災状況把握と市民の安全・安心のための早期対策へ



開始された復旧工事

所管事務調査

◆9月15・16日市内に記録的な大雨をもたらした台風18号による災害を被られた市民の皆様、心よりお見舞い申し上げます。

◆11月22日の委員会において、信楽高原鐵道の被害の状況報告を受け、現地視察を実施しました。また、信楽高

の暴力防止及び被害者の保護に関する基本計画について、被害者の声は難しい面はあるが、啓発等の中で生かしていきたくと答弁があり、事例を参考にしたり、警察との相談体制も含めきめ細かな対応が必要であると委員から意見がでました。



事業について
あいこみこうかの現地視察を行いました。引き続き運営状況等の調査を行っていきま



民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

児童クラブ問題点の掘り起し



綾野児童クラブを視察

所管事務調査

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

現地調査

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

児童クラブの現状について、ここ数年問題になってきている定員を大幅に超えているクラブについて指摘されました。そこで、11月24日、水口、綾野児童クラブを視察し元気な子どもたちともふれあい、児童クラブの現状をつぶさに見学させていただきました。併せて現在新築工事中の現場も視察しました。



文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

教育委員会方針について説明を求める

所管事務調査

同委員会では、設置後初めての委員会を、昨年11月20日に開催し、その後12月18日、1月16日に行いました。

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ



付託案件

付託された2件を慎重審査

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

議案第1331号 甲賀市固定資産税特別措置条例の制定について

同条例は固定資産税の特別措置により市内における企業等の新たな資本投下を促し産業の振興及び雇用機会の拡大を図るとともに、将来に渡り安定的に税収を確保すること

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

所管事務調査

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ

◆甲賀市信楽中央病院改革プランについて、公立病院の役割として、僻地医療の提供、在宅支援、地域医療との連携などに取り組み、今後ハビリ入院や機能回復訓練室をリハビ



平成25年 第6回甲賀市議会定例会一般質問

平成25年12月12日・13日・16日・17日

順番	氏名	質問事項
1	谷永 兼二	1 自治振興会と地域市民センターの現状、課題、成果について 2 親子手帳・父子手帳の導入で父親の育児参加の促進を 3 検証台風18号災害 4 台風18号災害による信楽高原鐵道の復旧について
2	小河 文人	1 台風18号災害復旧について 2 地域商工業の振興策について 3 名誉市民条例について
3	白坂萬里子	1 「婚活支援で少子化対策を推進する」ことについて 2 「子育て応援」課題について 3 教育課題「学力テスト」について
4	竹村 貞男	1 平成25年度全国学力テスト（小学6年生、中学3年生）の結果について 2 学校週5日制の見直しについて 3 小学校のグラウンドを芝生化することについて
5	田中 実	1 甲賀市内の河川整備計画の現状と今後の課題等について 2 国道4車線化とアンダー工事について 3 水口町内に居住するオウム信徒対応について 4 甲賀市内の自治会組織設立について
6	戎脇 浩	1 学びの支援事業について 2 子ども間の人間関係の構築について 3 甲賀病院の移転にまつわる諸問題について
7	山岡 光広	1 台風18号被害の一日も早い復旧と災害に強いまちづくりへ ①異常気象を想定した市防災計画の拡充「防災マップ」を見直しすべき。 ②危機管理と市民への情報提供という点での検証は。 ③聴覚障害者用の緊急時音声告知対策が必要。 ④被災者の立場に立った復旧策が必要。「査定前着工」の活用をはじめ復旧対策に知恵が必要。 ⑤「急傾斜地指定」「土砂災害警戒区域」対象地域で、未指定や未対策カ所等で災害が発生している。今後の対応は。 ⑥風水害防止対策では、河川の日常管理が大事。県に強く働きかけるべき。 2 大飯原発や高浜原発の再稼働を許さず廃炉へ。福井原発群での苛酷事故を想定した県のシミュレーションに対する認識と原子力防災対策の強化について 3 2歳半健診の実施に向けて 4 コメの生産調整「減反廃止」と甲賀市の農業について
8	田中 將之	1 信楽高原鐵道列車代行バスについて 2 甲賀警察署の夜間警備体制について 3 未利用地の売却・有効活用などによる財源の確保について 4 甲賀ブランドについて
9	中西弥兵衛	1 第2回信楽まちなか芸術祭について 2 甲賀JOBフェアの開催状況について 3 想定外が多々あった台風18号を教訓としたことは何か
10	安井 直明	1 市民アンケートでは「ここ1、2年で暮らしにくくなったと答えた人が6割に」暮らし平和をどう考えるか 2 市議員選挙での市民の願い実現を 3 地域要望を実現せよ 4 平成26年度予算編成を問う

議員は選挙区内に暑中見舞い・年賀状などの挨拶状を出すことが禁止されています。

順番	氏名	質問事項
11	片山 修	1 市長の市政に対する基本理念について 2 子どもや、お年寄りが安全で安心して暮らせる環境と危機管理について
12	土山 定信	1 5年経過したクリーンセンター滋賀について 2 限界集落対策について
13	山中 善治	1 小中学校の再編について 2 住宅リフォーム促進事業補助について
14	林田 久充	1 甲賀市総合計画後期基本計画について 2 政策形成能力の向上と人材育成について 3 (仮称)甲賀市自治基本条例策定事業について
15	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて 2 高齢者対策について 3 障がい者のスポーツ振興について 4 公立図書館の「雑誌スポンサー制度」の導入について
16	森田 久生	1 「クリーンセンター滋賀」設置に伴う甲賀地域振興事業の促進について 2 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について
17	橋本 律子	1 介護保険サービス「要支援」の今後 2 地域の特性を活かし、元気な産業を
18	橋本 恒典	1 市の行政改革とその取り組みについて 2 市の文化財保護について
19	田中 新人	1 国道1号水口線の4車線供用について 2 あいの土山マラソンについて 3 甲賀市の農業振興について 4 台風18号被害の復旧と対策について
20	竹若 茂國	1 市民と市政の信頼関係と協働について 2 甲賀市庁舎改築整備について
21	辻 重治	1 ナラ枯れ対策について 2 市の水道事業における水源確保について 3 農業政策について
22	小西喜代次	1 福祉充実の市民要望の実現を求める。 2 信楽高原鐵道の早期全面復旧を求める。 3 大戸川・信楽川の早期浚渫・改修を求める。 4 県道大津信楽線つけかえ道路の早期開通を求める。
23	宍戸 俊夫	1 道路環境の整備について 2 水口城跡周辺整備とまちづくりについて 3 公民館及び体育館の耐震整備について
24	森嶋 克己	1 甲賀市の人口減少対策と過疎化対策について
25	的場 計利	1 利用しやすいコミュニティバス運行を

公職選挙法メモ

議員が選挙区内にあるものに対して、寄付をすることはいかなる名義でも禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



問 本市における結婚相談の現状は。又婚活支援を少子化対策の取り組みとして検討している。

白坂萬里子

Q 婚活支援で少子化対策の推進を

A 検討が必要な時期だと認識している

又メールマガジンは週一回配信し、11月28日現在80人に配信。よりに使いやすい施設の情報提供を行っていく。

健康福祉部長 子どもに関する業務を集中的に支援し、安心して相談や手続きのできる対応に。

市長 12名の相談員で月2回、第一・三土曜日に開設。H21年度からは「出会いパーティー」を開催し、交流できる場作りにも努め誠意をもって情報交換会で対応。今後、より効果的な事業として検討が必要と認識している。甲賀市らしいユニークな婚活支援や少子化の取り組み策が提案されてくることに期待している。

問 子ども応援課の体制と10月からの子育て応援メールマガジンの活用状況は。雨天時の遊び場の提供は必要だと考えるが。

この他 全国「学力テスト」について、教育長ならびに教育委員長に次の3点にわたって質問しました。

①甲賀市のテストの結果はどうか。
②この結果についてどのように捉えているか。
③今後の取り組みは。



テスト風景



特認校の山内小学校

問 学力テストの成績向上に向けて対策は。教育長 校長、教頭代

市長 次年度から条件付きで開示できるようになった。教育委員会が適切に判断すると考えている。

問 学力テストの学校別結果公表をどう考えるか。学校の序列化や過度の競争が無いように。結果を学力向上や授業改善に生かしてほしい。

問 旧町の小学校に1校ずつ、もしくは特認校五校から小学校のグループを芝生化する考えはないか。児童の怪我の防止や運動機会の増加、猛暑でのヒートアイランド現象の緩和、地域との連携による

市長 市教委で議論されることに期待し、その具体的な取り組みについての環境づくりには積極的に支援したい。

問 読書の時間や百ます計算の導入は。教育長 すべての学校で実施している。

問 旧信楽町名誉町民岡本太郎の「躍進」を新庁舎建設に利用している。新庁舎は、現在基本設計を進めているところ

市長 新庁舎は、現在基本設計を進めているところ

問 学力テストの学校別結果公表をどう考えるか。学校の序列化や過度の競争が無いように。結果を学力向上や授業改善に生かしてほしい。



特認校の鮎河小学校

議員は選挙区内に病気見舞金を出すことが禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

谷永 兼二

Q 自治振興会の課題は

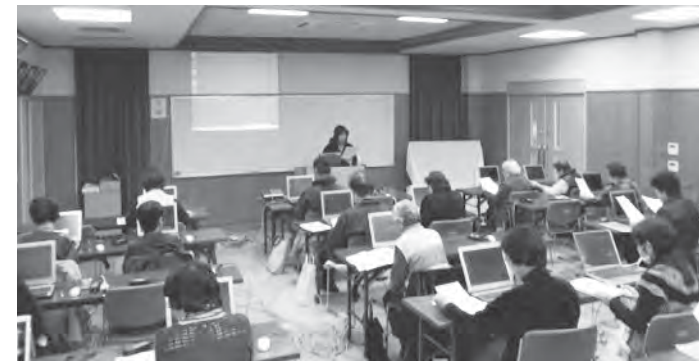
A 組織の担い手の人材育成

問 自治振興会の構成員で区や自治会に属さない市民の現状は。総合政策部長 区や自治会の加入率は74%で、一方自治振興会の構成員はすべての市民であり、誰もが参加できるように取り組んでいただいている。

問 事業加算金を返還したところはないか。総合政策部長 24年度実績で数か所ある。

問 返還された分析はしているのか。総合政策部長 積極的な取り組みがほとんどだが、区、参加者の負担金を取り入れながら最終的に交付金の満額を使わなかった。

問 区や自治会とのすみ分けは。総合政策部長 自治振興会は広範囲の優位性を活かし、区・自治会の弱みを補いながら地域課題を解決する活動をしている。



自治振興会パソコン教室

問 親子健康手帳・父子健康手帳の導入で父親の育児参加の促進を。健康福祉部長 父親向けの情報提供や教室の開催の必要性も感じている。今後、配布資料の反応や利用状況を確

Q 信楽高原鉄道今後の展望について

A これまで以上の積極的利用促進を

小河 文人

問 25年度末の信楽高原鉄道収支予測はどうか。総合政策部長 乗客数は定期購入でほぼ同じであるが、災害による観光等一般乗客の見込が下まわり乗客数が三万二千人の減、計四十九万五千人。燃料費の軽減分を含め



貴生川駅で再開を待つ・ラッピング列車

問 市内中小企業振興策について、昨年より甲賀市商工会から(仮)中小企業振興基本条例

問 代行バスの冬期対策について。総合政策部長 ①蛙橋付近に設置のカメラで状況を判断 ②甲賀土木事務所融雪剤の早期散布 ③新名神信楽インターから高速道路を利用し迂回する。

問 旧信楽町名誉町民岡本太郎の「躍進」を新庁舎建設に利用している。新庁舎は、現在基本設計を進めているところ

議員は選挙区内の運動会やスポーツ大会への差し入れが禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

問 台風など自然災害による被害を最小限に抑えるために災害に強い福祉のまちづくりが必要。
異常気象を想定した防災計画の見直し、災害時の自治会・消防などとの情報共有、聴覚障害者のための音声告知端末、被災者に寄り

山岡 光広

Q 2歳半健診の実施を

A 早期に実施できる体制を整えたい



台風18号災害現場

現時点では影響を推し量ることができない。調査していない。

添い査定前着工など制度の有効利用、災害補助対象外への対応、河川の浚渫・改修などを急ぐべき。
危機・安全管理統括監 自治会との情報共有はマニュアル化を、消防団とは無線システムを検討中。防災計画も拡充。
総合政策部長 聴覚障害者世帯には一台、緊急情報を文字データとして確認できるタイプ

レットを無償で支給する。
産業経済部長 農地農業用施設被害については、補助対象外に対しては、市独自で資材を無償提供して支援。
建設部長 河川の浚渫など更なる維持補修が必要で、県に強く働きかける。
問 「2歳半健診」の実施を。
健康福祉部長 歯科医・小児科医・内科医の代表らと調整して早期に実施できる体制を整えていきたい。



かえる橋付近の信楽高原鐵道列車代行バス

問 信楽高原鐵道列車代行バスの冬季対策について。
総合政策部長 国道307号線の小野谷から山土地先の積雪・凍結対策として、甲賀土木事務所に対して早めの融雪剤散布要請をして

広い面積をもつ本市にあっては充分な体制ではなく、県警本部に対して駐在所の新設や人員強化について要望を続けていく。
問 未利用地の売却・有効活用などによる財源の確保について。

いる。また、あのコムこうかの光テレビカメラを始発時に確認し、万一のときは新名神高速道路を利用するよう調整している。
問 甲賀警察署の夜間警備体制について。
市民環境部長 現在は水口城南、土山、信楽の3交番で夜間警備をしているが、

総務部理事 今年度当初予算に土地売却収入等として約1億弱の予算計上をしている。進捗状況についてはまだ6百万弱である。今後、公売等の方法で鋭意、売却していく予定である。
問 甲賀ブランドについて。
産業経済部長 甲賀らしさをイメージする5つの価値規定に基づき「甲賀ブランド」として認定することで本市の知名度を高め、地域経済の活性化を図るもの。今後も甲賀ブランド推進協議会コーディネーターの京都嵯峨芸術大学の桑田政美氏のアドバイスを受けながら進めていく。

議員は選挙区内のお祭りへの寄付や差し入れが禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 実

Q

野洲川河川決壊寸前の現状を受け

A

戦後最大流量に対応可能を確保

問 台風十八号により野洲川河川敷柏貴区地先の決壊寸前の現状を受けて。
建設部長 滋賀県が策定している「甲賀湖南圏域河川整備計画」において、野洲川と杣川の合流点付近より、石部頭首工までの十一キロメートル区間について、戦後最大流量に対応可能な河川断面の確保の計画があり、平成二十一年度より柏貴地区直下流の野洲川と杣川の合流点付近において、滋賀県甲賀土木事務所による「野洲川総合流域防災事業」で、野洲川と杣川の合流点より、下流約八百メートルの区間において草木伐採、河道掘削を行い、治水上の安全度を



野洲川 総合流域防災事業工事現場



アンダーパス工事現場

向上させることを目的に二十六年完了予定で工事が行われている。
問 国道四車線化とアンダー工事について。
建設部長 四車線供用は水口町名坂から泉地先までの区間について二十七年中の供用を目標に進められている。アンダー工事も二十七年完了計画であり、国道の地下に幅員四メートルの車道と一、

五メートルの安全面を十分検討して、歩行スペースを設置予定である。
問 水口町内に居住するオウム信徒の取り組みと今後の対応について。
市民環境部長 超党派の国会議員の参集による「オウム真理教対策議員連盟」の設立に伴い法改正等の要望を行っていく。

Q

甲賀病院の移転による諸問題は

A

都市計画との整合を保ち検討

問 新病院周辺の問題は。
総合政策部長 病院南の松尾・山幹線、松尾・名坂線の交差点は、住宅団地に隣接し通行量も増加しているの、現地確認を行い「信号機設置重点要望箇所」として公安委員会に強く要望している。

問 跡地問題の進展は。
総合政策部長 病院組合管理者と整備検討会に早期解体を申し入れ、現在見積もり作成に取り掛かったとの報告を受けている。
問 組合議会で議決済の「解体撤去・処分」の「処分」の考え方は。
総合政策部長 「処分」の内容は未決定で、売買・借地・交換などが含まれると考えるが、前提として市の都市計画との整合を保つ必要から一体的かつ総合的な考えのもとに検討しており、その過程で市としての内容が見えてくるものと考えている。
問 跡地利用はまちづくりの観点からどうするか。



交通量が増え危険な交差点

くりの視点から当市の保有が望ましいのでは。
市長 市の都市計画等によるまちづくりと整合性を勘案して利用を検討することが望ましいことから、現在、庁内で検討を進めている。解体工事の進捗を見極



解体が待たれる旧甲賀病院

めながら、今後の方針を固めていきたい。
問 学びの支援事業におけるスクールサポーターの現状は。
教育部長 459名の登録で、その内初登録者は296名、依頼数は401名である。予算は、10月末で49.5%の執行状況である。

議員は選挙区内にお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

中西弥兵衛

Q 第2回信楽まちなか芸術祭の反応は

A 芸術祭を通じ当市のファン獲得ができた

問 台風後の交通アフレスの悪い中での開催状況と来訪者の反応はどうか。

危機・安全管理統括監

台風18号豪雨のため開催が危ぶまれたが、地域住民や災害ボランティアのご支援、ご協力により10月1日から20日間の会期中約9万人を超える皆さまに来ていただき、無事終了することができた。今回は○ザ・タスキ○信楽から伝えたいコト展○まちなかプロジェクト○オールブリュット展○FM信楽など市民参加の企画展が多くあり、地域を思う熱い思いを多くのファンに届けることができた。

期中に見えてきた課題は。産業経済部長 今回は地元業界が中心となって実行委員会を組織され家業をやりくりする中で迅速な対応をしていただき感謝している。今後の課題としては、焼物をキーワードにしながら「紫香楽宮」や「朝宮茶」等の地域資源と連携しながら、より広がりのあるイベントに育てる必要がある。

問 過去2回の開催結果を踏まえ、今後の市の考え方を問う。

産業経済部長 本市の地場産業である信楽焼の振興や観光の活性化は重要であると認識しており、瀬戸内国際芸術祭や高島の風と土の工芸等を参考に今回明

問 芸術祭の準備や会

問 日本共産党のアンケート結果から「市民の暮らしは一段と苦しくなった」の回答をもとに、暮らしや平和をどう考えるか。



160体のオリジナルタスキ

Q コミバスの改善を

A 今後に向け調整する

安井 直明



車両通行止めの岩上橋

市民生活への影響が生じないよう期待する。憲法の3原則を守ることは当然。第9条の崇高な精神は、大切だ。問 獣害対策の強化を。市長 防護柵支援を実施。捕獲頭数増に取り組み。

問 新甲賀病院からの帰りの便などコミバスの改善を図れ。



危険な前野の信号

問 地域要望の実現を。建設部長 県道岩室の歩道は引き続き要望。余野の歩道は先に上野・油日を県に要望。大野の布引交差点、視距改良も県に要望す

問 日本共産党のアンケート結果から「市民の暮らしは一段と苦しくなった」の回答をもとに、暮らしや平和をどう考えるか。

市長 消費税は大切な財源。税率の引き上げは、個人消費等への影響を緩和し、景気の下振れリスクへの対応と、

問 5年を過ぎたクリーンセンターの安全確認は問題なく運営されている

Q クリーンセンターの安全確認は

A 問題なく運営されている

土山 定信

問 5年を過ぎたクリーンセンターの安全確認は問題なく運営されているのか。

市長 当施設については、適切に運営されている。

問 本協定の10条に市が立ち入り検査をできるとなっているが、市は行っているのか。

市長 資料の立会や、検査結果は公表されている。安全は確保されていると認識している。

問 市民環境部長は、市からこの施設の環境監視委員になっていて、問題点は。

市民環境部長 信頼性を確保する上で、重要な役目を担っている認識している。

問 地域に

問 地域に

問 地域に



10年後の地域のために植えられた「くるみの木」

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

片山 修

Q 児童クラブの待機児童対策は

A 児童クラブ運営について検討する

問 基本理念に基づき市政にどの程度実現したか。

市長 私は常に全身全霊をもって市民の安全安心なまちづくりを当たっている。心して政治というものに携わる姿勢というものは、毀誉褒貶があってもただ自らの信じる道を真っ直



希望ヶ丘わくわくクラブ子どもの家

ぐに人の意見を聞きながら進むのが私の考え方である。主要事業執行にはホームページ等を通じて公表している。

問 子どもに対する支援策は。

健康福祉部長 子育てや子どもの健康や相談、乳幼児の医療等に対する支援と情報の発信等の事業を実施し、子育て環境の充実に努め安心して子育てが出来るよう環境整備を進めている。

問 児童クラブの待機児童対策は。

健康福祉部長 水口・甲南地域で対象児童の増加や利用希望者の増

問 児童クラブの待機児童対策は。



希望ヶ丘防災コミュニティセンター敷地内に交番用地

加があり、早急に対応する必要がある。待機児童が出ないように児童クラブ運営について検討をしている。

問 希望ヶ丘地域に交番の設置を。

総務部長 合併当初の平成17年から引き続き

県に対して、毎年交番

所設置の要望活動を続

けている。県の財政が

厳しく、また県警察全

体の警察官が不足して

いる。当地域での交番

設置における警察官の

増員配置は困難である

が、今後も地域の実情

を踏まえながら設置に

向けて要望を重ねてい

く。

議員や後援会が選挙区内に有料の挨拶広告を出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山中 善治 Q 小中学校の再編について

A 避けて通れないと認識している

問 教育委員会での素案はできているか。
教育長 平成23年2月に策定した。現在「特認校制度」を取り入れ、実施に向けた計画の検討中。

問 素案に対する協議をどのような手順で進めるのか。
教育長 特認校制度の状況と共に、地域の学校のあり方について、保護者・地域の皆さまと十分話し合い、時には有識者のご意見を聞き計画を仕上げたい。



特認校 多羅尾小学校のオベレッタ

接補助するものではない。しかし、できる限り市の内還元確保のため、施工業者及び協力業者において、市内業者の施工を対象として、本制度を利用し、身近な職人さんや工務店さんが積極的な営業活動を行い、受注拡大を図っていただきたい。

問 住宅リフォーム補助事業の継続を。
産業経済部長 東日本大震災の影響による緊急経済対策として平成23年より実施している。新年度の消費税増税もあり、市内経済の着実に回復も今しばらく時間を要するので、継続を考えている。

問 一社の補助金総額を制限し、より多くの事業所に補助を。
産業経済部長 市民のリフォーム工事補助事業であり、業者に直

問 条例の意図するものの基本的な考え方は。
市長 甲賀市がまちづくりを行っていくにあたっての理念や方向性を示しながら、自治に携わる市民・議会・行政それぞれの役割、責務、権利や自治を行ううえで必要な仕組みを定める。

Q 自治基本条例策定事業について

A 自治を行ううえで必要な仕組みを定める

問 条例策定にあたっての基本的なキーワードは何か。
総合政策部長 情報公開並びに情報共有、および市民参加と考える。



自治基本条例策定委員会の様子

問 策定委員会の会議録の「コメントロールする」や「行政を縛る」という考え方は。
総合政策部長 市役所の職員は、これまで以上に知識や見識を深めることが求められる、市民への説明責任をしっかりと果たさなければならぬ。市役所は、その時々でやり方を変えることなく、一定のルールに沿って、市民の目に見える形で、市政を進めていくことを示唆されたもの。

問 条例の検討にあたって「協働」をどう考えているか。
総合政策部長 市民等と議会の議論をどう整合させるのか。

林田 久充

問 クリーンセンターの滋賀に対する現認識は。
市長 開業後問題も発生したが現在は解決し、経営状況も改善し地元との関係も良好と認識。

問 合併時承継事業として要望に応える
了で期限到来時の影響は。
総合政策部長 助成金総額三十億円に対し、約十三億七千万円の進捗。覚書期限は平成三十年八月末日。期限満了後は助成金は無くなる。

問 策定委員会の議論と議会の議論をどう整合させるのか。
総合政策部長 市民等と議会の議論をどう整合させるのか。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

加藤 和孝

Q 避難所運営マニュアルの策定は

A 策定に向け準備を進めている

問 避難所運営マニュアル策定の進捗状況は。また、環境省では、大災害時にペットとの同行避難を原則とする指針を示しているが、避難所での対応は。
健康福祉部長 音声放送での行方不明者の情報を発信できるので、多くの市民の協力が得られるものと思う。また、認知症サポーターによる見守り支援を行っているっており、より一層

危険・安全管理統括監 マニュアルについては、各避難所で共通する初期の項目から策定す



環境省 Ministry of the Environment

環境省の指針

べく準備を進めている。ペットとの同行避難については、マニュアルの検討段階において検討する。

問 徘徊等により行方不明になられた方の情報を緊急メール等で発信し、多くの市民の協力を得て探索するようには。また、徘徊模範訓練に取り組んではどうか。
健康福祉部長 音声放送での行方不明者の情報を発信できるので、多くの市民の協力が得られるものと思う。また、認知症サポーターによる見守り支援を行っているっており、より一層

問 障がい者のスポーツ振興とスポーツ基本計画策定に対する考えは。また、障がい者の社会参加を促進すべく、体育館等のスポーツ施設の使用料を減免する考えは。
教育長 障がいのある方に多数参加いただくには何が必要か等の検証を行いながら振興に取り組み。スポーツ基本法に基づき、甲賀市スポーツ推進計画を来年度に策定し、併せて使用料の減免についても検討を進める。

問 合併時承継事業として要望に応える
了で期限到来時の影響は。
総合政策部長 助成金総額三十億円に対し、約十三億七千万円の進捗。覚書期限は平成三十年八月末日。期限満了後は助成金は無くなる。

問 事業進捗状況、助成覚書の期限、事業未

問 事業進捗状況、助成覚書の期限、事業未

問 事業進捗状況、助成覚書の期限、事業未

問 事業進捗状況、助成覚書の期限、事業未



二期工事が進む クリーンセンター滋賀

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

Q 駅前整備に伴い忍者構想の施策を

A 地元市民の方々と共に進める

問 少子高齢化が一層進む中、元気で自立性あるまちを築くためには、人づくりや産業基盤の強化が必要。地域の特性を活かし、元気な産業を育成するためには市内各地の観光資源相互の連携を図り、人々のおもてなしの心の育成を高めることが求められる。

人材育成・観光ガイドの取り組みの現状は。

産業経済部長 甲賀ブランド推進協議会では市への誘客を図るためのセミナー等の開催や観光ボランティアガイドの皆さんには、スキルアップのための研修会参加への支援を行った。次世代リーダーの養成やより多くの方に積極的に活動いただけ



光る歴史観光拠点！

るような人材育成に努める。

問 甲南駅前整備が進められる今、甲賀流忍者エリアでの誘客機会として都市計画課、併せて地元まちづくり委員会・検討会とも協働を高めていくべきと考えるがどうか。

問 行政改革の基本的な考え方は。

Q 市の行政改革は

A 3つの視点で継続中

橋本 恒典

り実施できており、課題については推進本部において外部評価の意見も踏まえ対応方針、見直し等を決定、進捗管理を行っている。

問 文化財保護の現状は。

問 行政改革大綱および推進計画の今後の取り組みは。

問 文化財の保存とその活用は。



市内には多くの指定文化財が(甲賀町隠岐の大岡寺の薬師如来坐像)



台風18号で倒壊した市指定天然記念物の椋野寺のマキの木

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

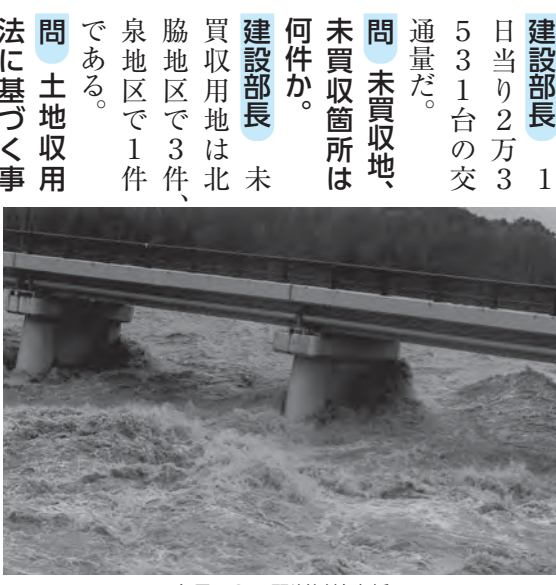
田中 新人

Q 国道1号水口線4車線完成予定は

A 平成27年度目標で事業進行中

問 平成25年度予算を踏まえた道路事業の見通しを伺う。

建設部長 水口道路2工区における平成25年度の当初予算額は10億9千万円で用地関係業務と工事を行う。



台風18号野洲川柏貴橋

建設部長 1日当たり2万3531台の交通量だ。

問 現況の交通状況、特に泉西交差点の交通量観測データは。

問 積水化学前交差点と今後の取付け道路は。



建替え検討中の水口庁舎

竹若 茂國

Q 地元要望の取扱いと市民との協働は

A 地元要望は重い。丁寧に取扱う

問 地元要望の不親切な扱いは。

問 自治振興会の検証と見直しは。

問 地元要望の一部を自治振興会で取扱うことは。

問 甲南地域の様々な資源を活用した市長の将来構想を伺う。

問 水口庁舎への本庁舎機能の一元化は、決定されているのか？

問 甲南地域の様々な資源を活用した市長の将来構想を伺う。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

重治

Q 新コメ政策への取り組みは

A 力強い農業につながる施策推進

問 新たな水田農業政策では、米の直接支払交付金が26年産米から減額となるが、安心して営農を継続できるか。

答 新たな水田農業政策では、米の直接支払交付金が26年産米から減額となるが、安心して営農を継続できるか。257km50集落で未設置箇所は、獣害が集中している。引き続き取り組む。

問 水道事業で甲賀岩室浄水場整備の計画があるが、目的と概要は。

答 上下水道部長 浄水機能向上と安定供給を目的とし、加圧ポンプ、浄水池の築造、発電装置の設置であり、2月末日に完成する。配水地域は、甲賀町中西部と26年度から甲南地域にも供給する。

問 里山でナラ枯れの発生が最近見られるが、被害と対策、また倒木事故等の対策は。

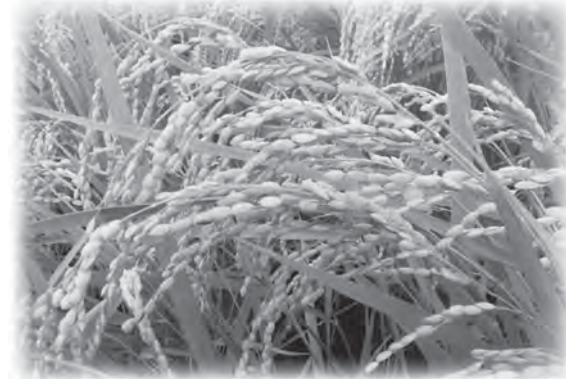
答 産業経済部長 平成21年初めて確認された。緊急な対応と実情に応じた対応を実施する。

問 建設部長 倒木が道路通行の支障となるときは、ナラ枯れに限らず法規定により処理する。



甲賀米の豊かな実り

問 甲賀産米の状況と獣害対策は。



答 産業経済部長 作況は「やや良」でコシヒカリの特別栽培米を新たに「忍味（しのびあじ）」と命名、新品種（みずかがみ）

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

穴戸 俊夫

Q 水口城跡をまちづくりの核に

A 総合的な地域振興に重要な存在だ

問 甲賀病院へのアクセス道路新設は。建設部長 国道1号病院前交差点から南進する道路は新設計画にまでは至っていないが、今後のまちづくりの視点から検討する。城南街道の延伸は地権者と交渉中。早期着工が図れるよう関係官庁とも



早期着工が待たれる城南街道の延伸部分

問 水口城跡周辺整備は。教育部長 堀の復元は史跡として本来の姿を取り戻すことであり、検討に値する。法面整備は引続き現状確認に努め、遺跡保全と修景に当たる。北西「乾櫓」については過去に審議会を設置して調査したが櫓台の耐力に問題があり復元を断念。代わって現在の水口城



整備を要する水口体育館

資料館を建設した。乾櫓の復元は極めて困難だ。水口城跡、岡山城跡、三筋町は市の発展を示すシンボルの存在。先の提言は、これからのまちづくりや地域振興を図る中で検討していく。

問 公民館及び体育館の耐震整備は。教育部長 公民館は水口中央公民館別館及び公共施設見直し計画により地元へ移譲予定の1館を除き補強等を完了。体育館は来年度より順次補強工事に着手。水口体育館は同一敷地内に公民館もあることから現在整備検討中。

Q 大津信楽線付け替え道路の早期開通を

A 早期整備必要、要望していく。

問 信楽高原鐵道の早期全面復旧を。調査結果と復旧のめどは。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断。



台風18号で浸水の葛上川隣接の民家

小西喜代次

問 中学校卒業までの通院医療費の完全無料化の拡充を。

市長 利用状況や財源確保もふまえて子育て支援の充実を検討する。

問 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて増設を。

市長 市内の方の市内6施設への実待機者数は

Q 人口減少対策や過疎化対策は

A 地域コミュニティの維持活性化で

問 人口減少や少子化の原因をどう考えるか。総合政策部長 28年後の2040年には、甲賀市の人口は1万7000人減少し、7万5552人となると推計されている。

問 甲賀市の出生率は健康福祉部長 平成23年には719人の子どもが生まれ、人口千人あたり7.6、全国平均8.3、滋賀県の9.4より少ない。

問 結婚相談所は産業経済部長 甲賀市結婚相談所として毎月第1、第3土曜日の午後水口庁舎において相談員12名体制で行っている。

問 高すぎた払えない国保税の一世帯一万円引き下げを。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断。

問 信楽高原鐵道の早期全面復旧を。調査結果と復旧のめどは。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断。

問 高すぎた払えない国保税の一世帯一万円引き下げを。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断。

人口と世帯	
甲賀市	12月1日現在
人口	93407人
男	46395人
女	47012人
世帯	33416世帯

甲賀市人口 12月1日現在

組合議会の動き



11月6日・8日の甲賀・湖南市議会において、選出された10名の議員による第3回臨時議会が、12月24日開催されました。

議案審議と結果
 ◎議案第13号
 平成25年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第3号)についての件

現在、消防救急業務における通信手段として、150MHz帯の

甲賀広域行政組合

補正予算と議会人事を審議

アナログ無線を使用していますが、近年の電波の有効利用の観点から総務省総合通信基盤局より全国消防長会へデジタル化の要請があり、平成28年5月31日までに、260MHz帯デジタル波へ移行するため、早急に取り組むために設けられた緊急防災・減災事業債を活用すると、交付税算入率が50%から70%へ引き上げられ、当初計画より有利となります。(全員賛成により可決)

議会人事

(甲賀市選出議員)

- 議長 辻 重治
- 監査委員 白坂萬里子
- 議員 橋本 律子
- 議員 橋本 恒典
- 議員 竹若 茂國

(文責 白坂萬里子)

甲賀公立病院組合

第3・4回臨時議会

平成25年第三回臨時議会(11月18日)において次の通り副議長並びに議会選出の監査委員が選任されました。

平成25年11月改選による新議員

議長 矢野 進次(湖南)

副議長 服部 治男(甲賀)

監査委員 鵜飼八千子(湖南)

議員 的場 計利(甲賀)

田中 新人(甲賀)

鵜飼 勲(甲賀)

服部 治男(甲賀)

中西弥兵衛(甲賀)

塚本 茂樹(湖南)

鵜飼八千子(湖南)

立入 善治(湖南)

植中 都(湖南)

矢野 進次(湖南)

平成25年 第4回臨時議会(12月24日)

平成25年度公立甲賀病院事業会計補正予算(第2号)資本的収入において二千三百万円を追加補正し、総額において十五億八千三百万五千円とするもの。

二千三百万円は当病院が災害時に於ける災害拠点病院の指定を受けGマット作戦に対処するための救急車と医師看護師搬送の為の車両購入の為に国庫補助金を受け対処するもの。

(全員賛成により可決)

(文責 服部治男)



議会活動報告(11月~12月)

11月 6日	本会議	議会人事	12月 13日	本会議	一般質問
11月 19日	産業建設常任委員会 新潟県五泉市 受入		12月 16日	本会議	一般質問
11月 20日	民生常任委員会 文教常任委員会		12月 17日	本会議	一般質問
11月 22日	総務常任委員会		12月 18日	産業建設常任委員会 文教常任委員会	
11月 26日	議会運営委員会		12月 20日	本会議	委員長報告・討論・採決
12月 3日	本会議	議案上程	12月 24日	民生常任委員会	
12月 10日	本会議	議案審議・採決・付託	12月 26日	広報特別委員会	編集会議
12月 12日	本会議	一般質問			
	広報特別委員会	編集会議			

一般質問・特別委員会の動き

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

計利 的場

Q 甲南環状線、貴生川駅への乗入れを

A 利便を考えて検討する

問 利用しやすいコミュニティバス運行について路線を決める基本的な考え方は。合併したのに旧町の枠にとられていないか。

総合政策部長 第二次交通機関である路線バスとしては、最寄りの鉄道駅への接続が第一義と考える。基本的に合併前の各町の路線を継承している。

問 乗継制度を採用しているが、乗継のできる停留所は鉄道駅となっている。

甲南環状線の場合、かえで会館の次に最寄りの貴生川駅へ乗入れれば、乗継に非常に便利になる。また池田堀ノ内から甲賀駅へは5〜6分で行ける。町境を越える発想が必要と

考えるが。

総合政策部長 駅乗入れば列車接続時間等の制約もある。しかし乗継等の利便を図るためにも市民の要望を尊重し市域全体を対象とした路線も検討する。

問 巨額の予算を投入している。観光キャンペーン、割引制度など経営努力が必要と考える。

総合政策部長 生活交通として、利用者増、収益向上に各種方策を検討していく。



地域交通の核となるコミュニティバス

地域自主運行制度があるかどうか。

総合政策部長 新たな公共交通の形として導入議論もあるが、導入事例の検証は不十分。導入自治体の情報を収集し、本市に適合する制度か否か研究する。

庁舎整備特別委員会

1月10日 第一回委員会を開きました。市は、庁舎整備に関し市民が多く利用する共有部分について、市民目線での必要性から広く意見アイデアを求めるとのワークシヨップを四回開き意見を求めました。

当委員会としては、ワークシヨップの意見を尊重しつつ、議会としての判断を提言すべく議論を重ねていくことを結論としました。



◎服部 治男 ○山岡 光広
 竹若 茂國 戎脇 浩
 小川 文人 白坂萬里子
 辻 重治

信楽高原鉄道特別委員会

台風18号被害により運休中の信楽高原鉄道を今年中に再開させる

ため、国や県からの支援策がほぼ決定したので、復旧工事計画に着手されました。

甲賀市議会として、1月10日に信楽高原鉄道対策特別委員会を開催し、被災現地を視察し工事計画、工事予算そして再開後の利用促進計画について説明を受け調査したところです。



◎森嶋 克巳 ○森田 久生
 山中 善治 小西喜代次
 田中 将之 中西弥兵衛
 橋本 律子

広報特別委員会

当委員会の主な活動は、年4回(定例議会毎)発行の議会だより

議会の活動内容、市政にかかわる問題などをできるだけわかりやすく、親しみのある紙面づくりが編集のポイントです。



◎小西喜代次 ○林田 久充
 片山 修 戎脇 浩
 小川 文人 田中 将之
 森田 久生 空戸 俊夫
 ◎は委員長 ○は副委員長

ええとこ Vol.9
「こうか再発見」

市内の花の名所

市内にはまだまだ知られていない名所・旧跡などが多くあります。これまで句碑、建築物などを掲載してきました。今号から4回に分けて「花の名所」を紹介していきます。



甲賀町岩室

「大福寺」のしだれ桜

甲賀町岩室大福寺境内の「通称：徳本桜」です。樹齢200年を超える見事な「しだれ桜」です。

水口町名坂

「大池寺」の蓬萊庭園

水口町大池寺書院の蓬萊庭園。小堀遠州の作庭と伝えられ、サツキが有名です。



土山町鮎河

「うぐい川」のさくら

土山町鮎河「うぐい川」のさくら。両岸に約200本のソメイヨシノが植えられています。



甲南町寺庄

「甲南町創造の森」のサザンカ

サザンカの花 花の少ない寒い時期に咲くツバキの仲間。寺庄駅東側「甲南町創造の森」にて。



信楽町畑

「深堂の郷」畑のしだれ桜

樹齢400年を越えるエドヒガンのしだれ桜の銘木。甲賀市の天然記念物にも指定されており、茶畑の小高い丘の上から美しい花を咲かせているさまは必見です。



編集後記

◆改選後で初めての議会だよりです。編集をおこなう広報特別委員会は8人。うち新人議員が7人というフレッシュな委員会。議会だよりは初めてでも、みなさん経験豊富なメンバーで、斬新な紙面をお届けできると確信しています。

市民の皆さんが市政をより身近に感じていただけるよう、これまでの到達をふまえ、毎号改善と工夫が目に見えるよう努力を重ねていきますので、率直なご意見・提案をお寄せいただきますようお願いいたします。
(広報特別委員長 小西喜代次)

3月議会の予定

- 2月 24日 本会議 (第1日)
- 25日 本会議 (第2日)
- 3月 3日 本会議 (第3日) 代表質問
- 5日 本会議 (第4日)
- 7日 本会議 (第5日) 一般質問
- 10日 本会議 (第6日) 一般質問
- 12日 本会議 (第7日) 一般質問
- 13日 委員会
- 14日 委員会
- 17日 委員会
- 18日 委員会
- 20日 委員会
- 24日 委員会 (予備日)
- 26日 本会議 (第8日)

カメラの



2014年 元旦
「交通安全」などのご利益で知られる土山町の田村神社に今年も大勢の皆様が参拝。境内には柏手の音が響き、「本年もよろしくお願ひします」と長蛇の列ができました。



写真撮影：片山 修 委員